令和６年度 吹田市乳がん検診精度管理委員会 要旨

1 開催日時

令和7年２月15日（土） 午後２時30分から午後３時30分まで

2 開催方法

「ZOOMミーティング」を用いた対面とWeb開催（事務局：吹田市成人保健課）

3 出席委員（順不同）

相馬孝 委員　辻井健一 委員　吉岡節子 委員　佐藤七夕子 委員　北條茂幸 委員
吉岡泰彦 委員　古川順康 委員　川西克幸 委員　濱田未佳 委員　狭間礼子 委員

4 欠席委員

なし

5 市出席者

健康医療部成人保健課
課長 朴裕輝　主幹 川見知佳　主査 谷内佳代　主任 鈴木里奈　係員 田村萌恵

6 内容

（1）委員紹介・事務局紹介

（2）委員長の選出

吉岡委員に決定。

（3）報告事項

令和６年度 吹田市乳がん検診実施状況について【資料１、資料２、資料３、資料４】

A委員

要精検率を下げる努力をさらに続けないといけない。昨年と同じ方向性だが、少し下がったのでもう１段下がってくれないかなというところ。

乳がん検診チェックリスト集計は今年度集計の報告が見送りになった原因というのはどういうことか。

事務局

毎年、年を越したあたりで調査をしている。精度管理委員会に集計が間に合うかぎりぎりのタイミングになっている。集計が間に合う年度、間に合わない年度が出てくるので、前年度分を毎回紹介する形にしたいと思っている。

A委員

集計が遅くなるのは、大阪府からの指示が遅いからか。

事務局

それもある。

A委員

質問項目がおりてこないので質問できないということでいいか。

事務局
調査書が大阪府から届くのが、年末のぎりぎりのタイミングになるので、どうしてもこのタイミングになる。
A 委員
それは仕方ない。わかった。

(4)その他意見交換
B 委員
吹田市乳がん検診令和 6 年度の実施状況について、やや要精検率が高めで推移している。去年も申し上げたかもしれないが、実施医療機関の C クリニックが少し要精検率を上げていると思ったが、年度の推移をみると少しずつ低くなっているので、いい傾向だと思う。
非初回の方が別の医療機関で検診を受け、比較読影することができず要精査になっている可能性はあるか。
A 委員
二次読影では比較読影用のデータを取り寄せている。比較読影のデータを事務上の関係で、提出できない施設が 2 施設あり、その 2 施設については単年読影になっているので要精検率が上がる可能性が少しある。
現在、デジタルデータを蓄積している。単年しかデータを提出できない施設もデータが溜まれば比較読影が可能になっていくと予測している。
比較読影が要精検率を下げるコツになるのか。
B 委員
すごく重要だと思う。初回と非初回で要精検率が違うのはそういうところがあるのでないかと感じている。
B 委員
視触診で要精査になった方はしこりを感じるので、ステージも少し高めなのはそうだろうなと思う。
P7 の視触診要精検実施状況のところで、未把握者がおり、精検結果を把握していないのは問題と感じたのだが、どうか。
事務局
未把握データについて、事務手続き上のミスがあり市が精検結果を把握できておらず、現在照会中。次年度には把握をして、再度報告したいと思っている。

— 終了 —